

健康

遺伝子パネル検査

質問

「がん遺伝子パネル検査が保険診療可能に」とのニュースがありました。知人がんで治療中の人がいます。教えたのですが、内容がよく分かりません。どんな検査なのか教えてください。



宮本 弘志  
徳島大学病院がん診療  
連携センター長

回答

がん遺伝子パネル検査は、手術や内視鏡で採取したがん組織を用いて、がん組織に含まれる遺伝子の異常を一度にたくさん調べる検査です。がんは遺伝子異常が積み重なって発生します。それぞれのがんの特徴的な遺伝子異常を調べることとで、がんを持つ人に合った治療(個別化医療)につながる場合があります。

また、最近の抗がん薬の進歩により、がんの分子生物学的な異常に基づいた薬(分子標的薬)の開発が行われています。例えば、腫瘍の増殖を促す分子や血管を新しく作るために必要な分子に対する分子標的薬が作られ、実際に多くの薬剤が

同時に多数の異常判定



臨床の場で使われるようになっていきます。

がん遺伝子パネル検査の結果で分かった遺伝子異常から、遺伝子異常に対して適切な分子標的薬を用いることで、これまでがんの種類(胃がん、大腸がんなど)ごとに決

めていた薬の使い方が、がんの遺伝子異常に合わせた治療(がんゲノム医療)に大きく変わりつつあります。

これまで、がん遺伝子パネル検査は自費診療(自分で費用を全額負担)や先進医療で行われていました。しかし、国が第3期がん対策推進基本計画で取り上げて、がんゲノム医療を前進させていくために、6月から保険診療でがん遺伝子パネル検査ができるようになりました。

24個と、114個のがん遺伝子の変異を調べることが出来ます。

現在、国が定めたがんゲノム医療中核拠点病院や連携病院(徳島大学病院など)で、がん遺伝子パネル検査を実施するための準備を進めています。

対象は①標準治療のない固形がん患者②標準治療を終えた固形がん患者(終了見込み含む)に該当し、パネル検査実施後に化学療法適応の可能性が高い患者です。そして、検査に適切な状態のがんの組織が必要です。これらの条件を満たせば、がん遺伝子パネル検査を受けることができます。

それでも、検査結果から特別な遺伝子異常が見つからない場合や、治療に適した薬剤が見つからない可能性もあります。

関心がある人は治療を受けている主治医や徳島大学病院がん相談支援センターまで相談してください。(第4土曜掲載)



検査についての相談対応

徳島大学病院  
がん相談支援センター  
電 088(633)9438  
月～金曜(年末年始祝日を除く)  
午前8時半～午後5時

より適切な治療可能に

がんに関する質問は  
徳島がん対策センター  
〈電088(634)6442〉  
(平日午前8時半から午後5時まで)

